

図書館ビジョン

宮代町立図書館の目指す姿



宮代町

図書館ビジョン

宮代町立図書館の目指す姿

目 次

1. 図書館ビジョン策定の背景と目的	1
2. 図書館ビジョンの構成	1
3. 図書館を取り巻く状況と課題	
(1) 社会的背景の変化	2
(2) 利用者等のニーズ	3
(3) 重点課題	5
4. 図書館の将来像（目指す姿）	5
5. 将来像を実現するための施策	6
6. 施策の展開	8
7. 「宮代町立図書館ビジョン」の概要	9

※ 参考資料

年度別利用状況	参考資料 1
図書館サービス利用者アンケート調査	参考資料 2-1
利用者アンケート調査での意見、要望	参考資料 2-2
宮代町立図書館協議会での検討項目と主な意見	参考資料 3

1. 図書館ビジョン策定の背景と目的

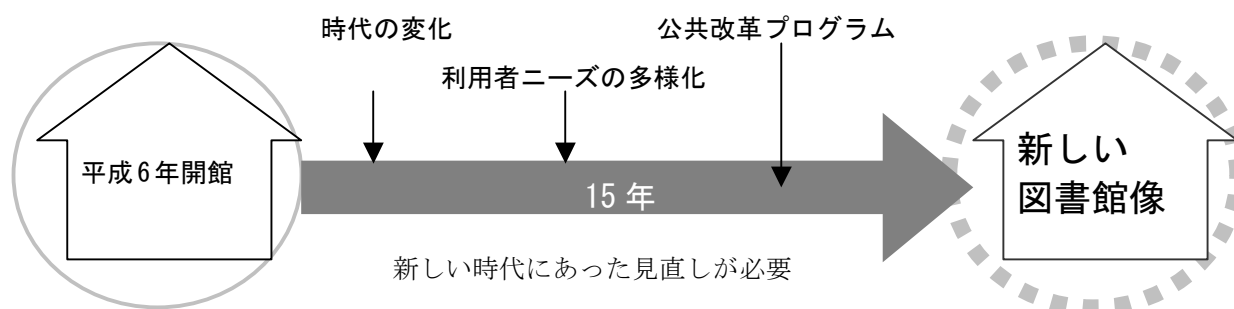
町民待望の宮代町立図書館は、平成6年1月の開館から本年度で15年が経過した。

開館当時、町村レベルでは東日本で一番の規模。大きさばかりでなく、視聴覚設備の充実や、ギャラリーやビデオ編集システムの開放等により、真に「地域住民のコミュニケーションの場」としての役割を期待された。そして、これまで、各種行事の開催や資料貸出数などにおいて、数多くの実績を上げてきた。

しかし今日、生涯学習意欲の高まりや利用者ニーズの多様化などにより、目指すべき図書館像にズレが生じてきている。

今後、町民の最も身近な学習施設として、図書館にはより一層利用しやすい施設作りが求められている。さらには、ますます高度化する情報社会に対応するために、図書館機能の向上を図ることが重要となっている。

一方で、現在町では、「公共改革プログラム2005」の一環として、指定管理者制度の導入に向けた検討を進めており、これを機会として、今日的な課題を踏まえかつ将来を見据えた宮代町立図書館のあり方をビジョンとして整理したものである。



2. 図書館ビジョンの構成

このビジョンは、図書館を取り巻く状況と課題、図書館の将来像（目指す姿）、将来像を実現するための施策、により構成しており、施策については、5年以内に実施することを目標としている。

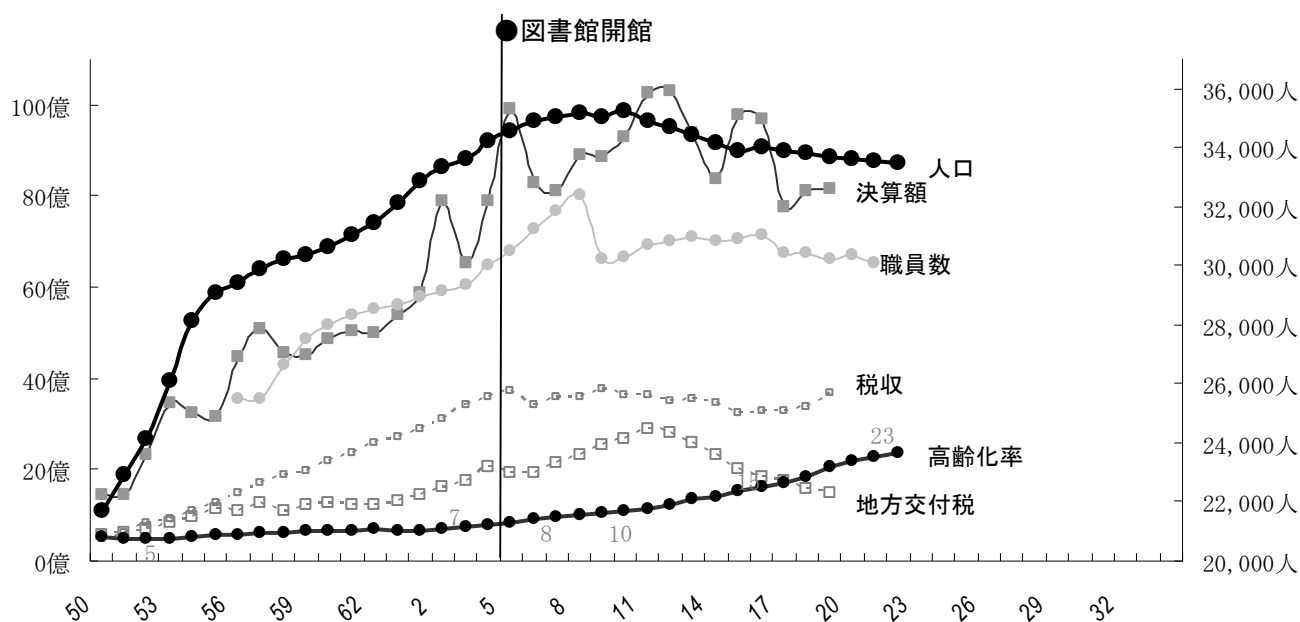
3. 図書館を取り巻く状況と課題

(1) 社会的背景の変化

団塊の世代を中心に生涯学習意欲と社会参加意識が高まるとともにIT技術の進展や国際化に伴い利用者ニーズは高度化・多種、多様化してきている。さらには、長引く景気の低迷や厳しい財政運営の中での行財政改革で公共施設運営経費の削減が求められている。

- 生涯学習社会・余暇時間の増大
- 子どもの活字離れ・利用者のモラルの低下
- 少子高齢社会・世代別人口構成の変化・人口減少・ノーマライゼーション
- 高度情報通信社会・IT化・国際化・グローバル化
- 男女共同参画・市民参加協働・団塊の世代の社会参加
- 地方分権・三位一体の改革・行財政改革・公民連携
- 産業構造の変化・経済不況、国、地方の財政状況の悪化

宮代町の財政状況と人口



(2) 利用者等のニーズ

町長への手紙、来館者を対象に実施している利用者アンケートや各種協議会等（宮代町図書館協議会、小中学校図書室連絡会、ボランティア連絡会議）から以下のような意見や要望が寄せられている。

ア) 町民、利用者

利用者アンケート等からの意見・要望

- 開館時間を延長してほしい
- 曜日によって開館時間がマチマチでわかりにくい
- 開館曜日が固定しているため自営業者等が利用できない
- 雑誌や新刊図書の数が少なくなっているため増やしてほしい
- DVDがいつも貸し出されていてなかなか借りられない
- 駅や他の公共施設に返却ポストがあるとよい
- 図書への書き込みや破られたものがある
- インターネットからの予約や自分が借りた本の履歴を見たい
- 閲覧席がいつも占領されていて初めての人が利用しにくい
- 職員、司書をもっと増やしてほしい

図書館協議会、ボランティア連絡会議からの意見・要望

- 一般向けの時好に適した講座等の開催を希望する
- ホールの稼働率が低く町民にとって魅力的なものになっていない
- ビデオ編集室などの設備が老朽化してまったく使われていない
- 大学が所在する町なのにそのメリットが活かしきれていない
- 高い棚にある資料が見えにくく手にとりにくい
- 駐車場がいっぱいで駐車できないときがある
- 長時間滞在する利用者向けに軽食の販売があるとよい

イ) 学校

小中学校司書教諭や現場で活動する学校読み聞かせボランティアの方々からの意見・要望

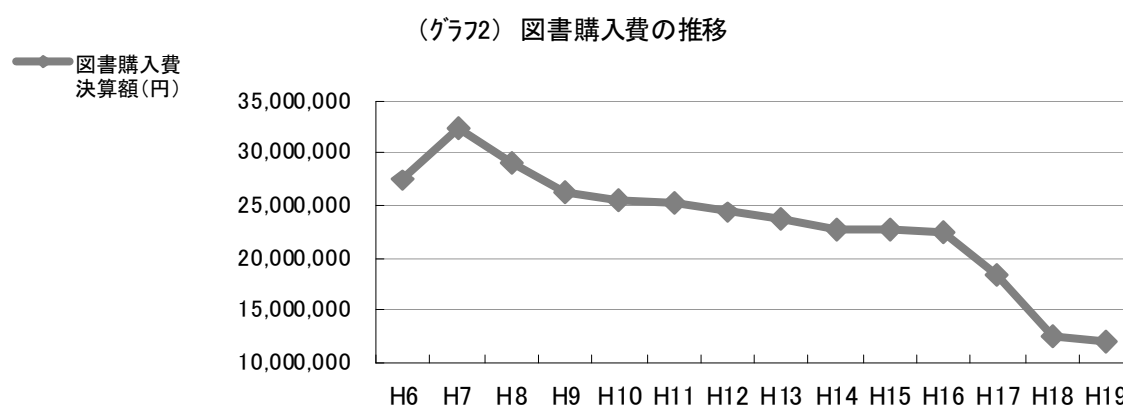
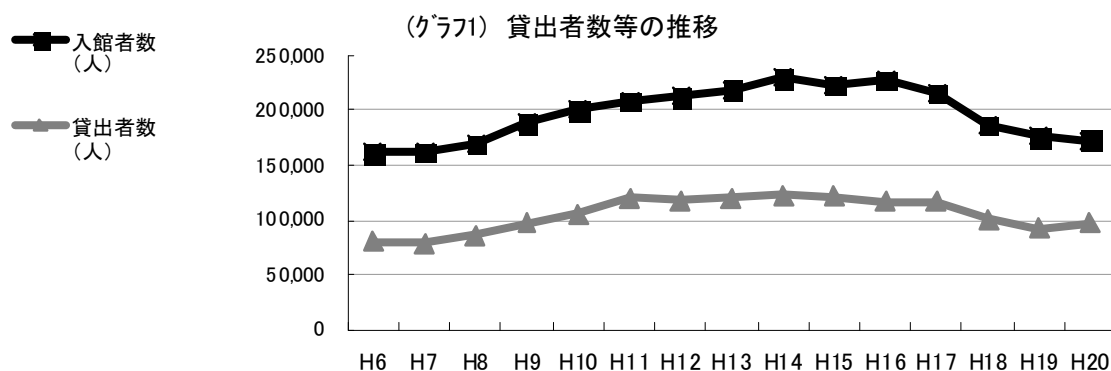
- 子どもの活字離れや読解力の低下防止のために学校に司書を配置したい
- 図書室の図書が「いつも同じ本」で新鮮味がない
- 図書室を専門的に運営するのが困難
- 団体貸出の貸出冊数を増やしてほしい
- 図書館の本を学校からもっとリクエストしたい

ウ) 町

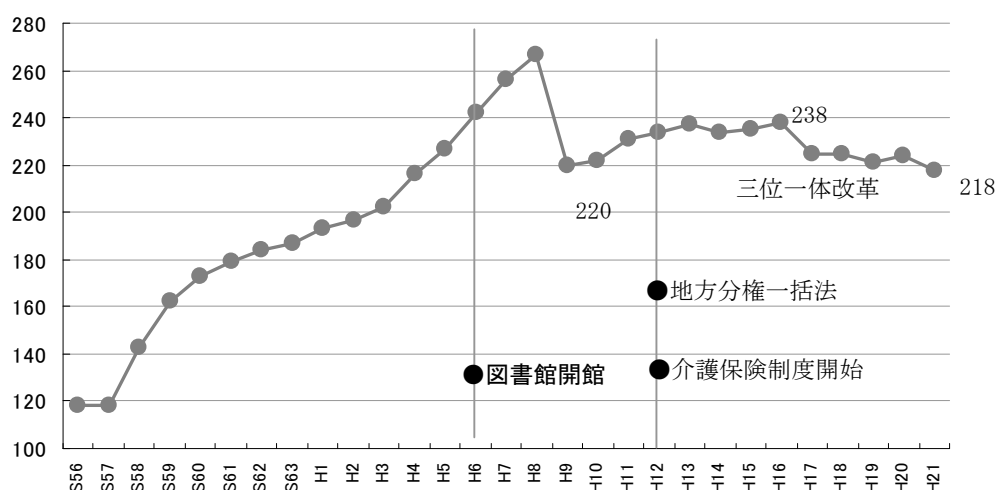
厳しい財政状況の中、様々な改革を行い、図書館の管理運営経費も例外なく削減。歳入が減る中で図書館の図書購入費に十分に予算を配分できない。

- 固定客だけでなく、より多くの層に利用してほしい

- 自らIT化を進めるためのノウハウや経験値がない
- 土日開館、遅番早番、祝日勤務、職員の配置ローテーションがままならない
- 職員二百人体制を目指しているため新規職員採用が十分にできない
- 保育士、看護師等の専門職採用はできても図書館司書の新規採用はできない

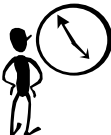


職員数の推移



（３）重点課題

上記（１）（２）で示した、社会的背景の変化や利用者ニーズを的確に捉え、これらを解決するために、次の５項目を重点的に取り組むべき課題として設定した。

- 1  町民ニーズに対応した利用者サービスの改善
- 2  インターネット、IT を利用した利用者サービスの展開
- 3  魅力ある蔵書構築と情報提供能力の向上
- 4  子どもの読書活動の推進と小中学校との連携強化
- 5  柔軟で弾力性のある運営体制の構築と施設の整備

４．図書館の将来像（目指す姿）

重点課題を積極的に展開することにより、今後、次のような姿の今日的な宮代町立図書館に変革していくこととする。

使いやすい、先進性を備え、 町民の誇りとなり得る、宮代町立図書館

- 町民みんなの図書館であり、時代のニーズ、町民の求めに的確に応えられる図書館であること
- 宮代町のまちづくりの原動力となる情報を提供し続けることが出来る「知の拠点」であること
- つねに点検・見直・再構築し、時代の先端にある図書館であること

5. 将来像を実現するための施策

3－（3）で整理した重点課題を踏まえ、図書館の将来像を実現するための施策を次のとおり整理した。（★は重点的に取り組むべき課題）

なお、これらの施策については、概ね5年以内に実施することを目標とするが、今後の施設管理の方向性（指定管理、直営）を踏まえたうえで、実現プランを策定し計画的な推進を図る。



（１）町民ニーズに対応した利用者サービスの改善

■休館日、開館時間の見直し（★）

- ・整理休館日の見直し
- ・休館日、開館時間等の見直し

■利用条件（貸出冊数、貸出期間等）の見直し

■レファレンス・サービスの充実（★）

- ・レファレンス専用窓口の設置
- ・配架等の改善

■サービス網と利用環境の整備（障がい者等へのサービスの推進）

- ・福祉施設等への団体貸出の充実
- ・ホームヘルプサービス利用者を対象としたリクエスト本の宅配サービスの推進
- ・通常の図書館利用が困難な障がい者等へのサービスの推進
- ・館外サービスポイントの開設
- ・新たな事業の展開による利用機会の提供



（２）インターネット、IT を利用した利用者サービスの展開

■インターネットでの貸出予約やレファレンス受付の実施（★）

■デジタル化、データベース化への対応

■HPの充実（★）

■インターネット利用環境の整備



（３）魅力ある蔵書構築と情報提供能力の向上

■複本収集、収集分担、保存体制を含め総合的、長期的な収集計画と蔵書構築（★）

- ・資料収集方針等の見直し
- ・利用状況等の分析による複本購入と雑誌等受入の見直し

■利用状況の的確な把握と図書、視聴覚資料、雑誌等の充実

- ・ 図書、視聴覚資料の充実
- ・ 団体貸出用図書の充実
- ・ 蔵書構築の検討
- 調査、研究を目的とした図書館利用に資するレファレンス・ツールの整備、充実
- 大学、専門図書館等との相互協力の推進（★）
 - ・ 大学図書館との連携
 - ・ 専門図書館等との相互協力の推進
 - ・ 他の公共施設、公共図書館等との相互協力の推進
- 広報誌「図書館だより」「こどもの部屋」の充実（★）



（４）子どもの読書活動の推進と小中学校との連携強化

- ボランティアとの協働による魅力ある行事の開催
- ブックスタート事業の充実
- 小中学校との連携による児童、生徒への直接的サービスの実施（★）
 - ・ 小中学校への団体貸出冊数の増
 - ・ 小中学校連絡会議による司書教諭等との情報交換の推進
 - ・ 学校訪問による状況確認
 - ・ 小中学校との資料情報、目録の共有化の推進
 - ・ 小中学校図書室とのネットワーク構築と運営への支援（選書ボランティア）
 - ・ 小中学校への司書巡回による読書支援（読書案内、ブックトーク）



（５）柔軟で弾力性のある運営体制の構築と施設の整備

- 組織、運営体制の見直し
- 専門的職員の配置、育成のための職員研修の充実（★）
- 施設、図書館資料を活用した新たな事業の展開
- 施設、設備の改修、駐車場の改善
- 市民参加による図書館づくりとボランティア等の図書館運営への参画の推進

6. 施策の展開

1. 背景と目的で記述したとおり、町では現在、指定管理者導入に向けた検討を進めている。

しかし、このビジョンに掲げた施策については、指定管理者導入と従来どおり町による管理運営（以下「直営」という。）に関わりなく、町の財政状況等に一定の配慮を行いつつも可能な範囲で図書館のあるべき姿を追求するスタンスで作成したものであり、今後の方向性に応じた実現プランをあらためて策定し、施策の再構築を行うことを前提としている。

今後、指定管理者導入のための準備を進めていく場合には、町は指定管理者の応募者にこのビジョンを踏まえた実現プランの提案を求め、その提案内容に基づいて最終的な導入（候補者の選定・決定）の判断を行うものである。

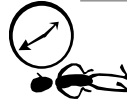
また、直営による運営を判断した場合にあっては、速やかに町の財政状況等を踏まえた実現プランを策定し、施策の選択と集中を行いながら計画的な推進を図っていくものである。

7.「宮代町立図書館ビジョン」の概要

(★は重点的に取り組むべき課題)

目指す姿 使いやすく、先進性を備え、町民の誇りとなり得る、図書館

- ・ 町民みんなの図書館であり、時代のニーズ、町民の求めに的確に応えられる図書館であること
- ・ 宮代町のまちづくりの原動力となる情報を提供し続けることが出来る「知の拠点」であること
- ・ つねに点検・見直し・再構築し、時代の先端にある図書館であること



(1) 町民ニーズに対応した利用者サービスの改善

- ・ 休館日、開館時間の見直し (★)
- ・ 利用条件（貸出冊数、貸出期間等）の見直し
- ・ レファレンス・サービスの充実 (★)
- ・ 図書館サービス網と利用環境の整備
(障がい者等へのサービスの推進)

(2) インターネット、ITを利用した利用者サービスの展開

- ・ インターネットでの貸出予約やレファレンス受付の実施 (★)
- ・ デジタル化、データベース化への対応
- ・ H P の充実 (★)
- ・ インターネット利用環境の整備



(3) 魅力ある蔵書構築と情報提供能力の向上

- ・ 複本収集、収集分担、保存体制を含め総合的、長期的な収集計画と蔵書構築 (★)
- ・ 利用状況の確かな把握と図書、視聴覚資料、雑誌等の充実
- ・ 図書館利用に資するレファレンス・ソールの整備・充実
- ・ 大学、専門図書館等との相互協力の推進 (★)
- ・ 広報誌「図書館だより」「こどもの部屋」の充実 (★)



(4) 子どもの読書活動の推進と小中学校との連携強化

- ・ ボランティアとの協働による魅力ある行事の開催
- ・ ブックスタート事業の充実
- ・ 小中学校との連携による児童、生徒への直接的サービスの実施 (★)



(5) 柔軟で弾力性のある運営体制の構築と施設の整備

- ・ 組織、運営体制の見直し
- ・ 専門的職員の配置、育成のための職員研修の充実 (★)
- ・ 施設・図書館資料を活用した新たな事業の展開
- ・ 施設・設備の改修、駐車場の改善
- ・ 市民参加による図書館づくりとボランティア等の図書館運営への参画の推進



図書館ビジョン

発行日：平成 21 年 12 月

発行：宮代町

(telephone) : 0480-34-9944

(E-mail) : library@town.miyashiro.saitama.jp

(HP) : <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>

企画・編集：宮代町町立図書館